

取扱説明書



EUROPOWER PMP2000

800-Watt 14-Channel Powered Mixer with Multi-FX Processor

目次

ありがとう	2
安全にお使いいただくために	3
法的放棄.....	3
限定保証.....	3
1. 概要	5
1.1 ご使用の前に	5
1.1.1 出荷	5
1.1.2 使用開始	5
2. 操作部	5
2.1 フロント部	5
2.2 後部	6
3. エフェクトプロセッサ	7
4. 設置方法.....	7
4.1 電源電圧	7
4.2 電源接続.....	7
4.3 オーディオ機器の接続.....	7
4.4 スピーカーコネクタ	8
5. 接続例	8
6. 技術仕様.....	9

ありがとう

新しいスケールのモダンな 14 チャンネル・パワーミキサー、PMP2000 をお買い求め頂きまして誠にありがとうございます。多方に使用できる、革命的なパワーミキサーを作るのが当社の初めからの目的でした。そしてその結: 圧巻の装備、多数の接続と他器接続の可能性を持った最高のパワーミキサーが完成しました。

JP

安全にお使いいただくために

**注意**

感電の恐れがありますので、カバーやその他の部品を取り外したり、開けたりしないでください。高品質なプロ用スピーカーケーブル (¼" TS 標準ケーブルおよびツイスト ロッキング プラグケーブル) を使用してください。

**注意**

火事および感電の危険を防ぐため、本装置を水分や湿気のあるところには設置しないで下さい。装置には決して水分がかからないように注意し、花瓶など水分を含んだものは、装置の上には置かないようにしてください。

**注意**

このマークが表示されている箇所には、内部に高圧電流が生じています。手を触れると感電の恐れがあります。

**注意**

取り扱いとお手入れの方法についての重要な説明が付属の取扱説明書に記載されています。ご使用前に良くお読みください。

**注意**

1. 取扱説明書を通してご覧ください。
2. 取扱説明書を大切に保管してください。
3. 警告に従ってください。
4. 指示に従ってください。
5. 本機を水の近くで使用しないでください。
6. お手入れの際は常に乾燥した布巾を使ってください。
7. 本機は、取扱説明書の指示に従い、適切な換気を妨げない場所に設置してください。取扱説明書に従って設置してください。
8. 本機は、電気ヒーターや温風機器、ストーブ、調理台やアンプといった熱源から離して設置してください。
9. 二極式プラグおよびアースタイプ (三芯) プラグの安全ピンは取り外さないでください。二極式プラグにはピンが二本ついており、そのうち一本はもう一方よりも幅が広がっています。アースタイプの三芯プラグには二本のピンに加えてアース用のピンが一本ついています。これらの幅の広いピン、およびアースピンは、安全のためのもの

です。備え付けのプラグが、お使いのコンセントの形状と異なる場合は、電気技師に相談してコンセントの交換をして下さい。

10. 電源コードを踏みつけたり、挟んだりしないようご注意ください。電源コードやプラグ、コンセント及び製品との接続には十分にご注意ください。

11. すべての装置の接地 (アース) が確保されていることを確認して下さい。



12. 電源タップや電源プラグは電源遮断機として利用されている場合には、これが直ぐに操作できるように手に設置して下さい。

13. 付属品は本機製造元が指定したもののみをお使いください。

14. カートスタンド、三脚、ブラケット、テーブルなどは、本機製造元が指定したもの、もしくは本機の付属品となるもののみをお使いください。カートを使用時の運搬の際は、器具の落下による怪我に十分ご注意ください。

15. 雷雨の場合、もしくは長期間ご使用にならない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

16. 故障の際は当社指定のサービス技術者にお問い合わせください。電源コードもしくはプラグの損傷、液体の装置内への浸入、装置の上に物が落下した場合、雨や湿気に装置が晒されてしまった場合、正常に作動しない場合、もしくは装置を地面に落下させてしまった場合など、いかなる形であれ装置に損傷が加わった場合は、装置の修理・点検を受けてください。



17. 本製品に電源コードが付属されている場合、付属の電源コードは本製品以外ではご使用いただけません。電源コードは必ず本製品に付属された電源コードのみご使用ください。

法的放棄

技術的な仕様および製品の的外観は予告なく変更される場合があります。またその内容の正確性について、いかなる保証をするものではありません。BEHRINGER, KLARK TEKNIK, MIDAS, BUGERA, および TURBOSOUND は、MUSIC GROUP (MUSIC-GROUP.COM) のブランドです。すべての商標はそれぞれの所有者の財産です。MUSIC GROUP は、ここに含まれたすべて、もしくは一部の記述、画像および声明を基にお客様が起こした行動によって生じたいかなる損害・不利益等に関して一切の責任を負いません。色およびス

ペックが製品と微妙に異なる場合があります。MUSIC GROUP 製品の販売は、当社の正規代理店のみが行っています。ディストリビューターとディーラーは MUSIC GROUP の代理人ではなく、あらゆる表現、暗示された約束、説明等によって MUSIC GROUP を拘束する権利はまったくありません。この説明書は、著作権保護されています。本取扱説明書に記載された情報内容は、MUSIC GROUP IP LTD. からの書面による事前の許諾がない限り、いかなる利用者もこれを複製、使用、変更、送信、頒布、入れ替え、工作することは禁じられています。

製権所有

© 2013 MUSIC Group IP Ltd.

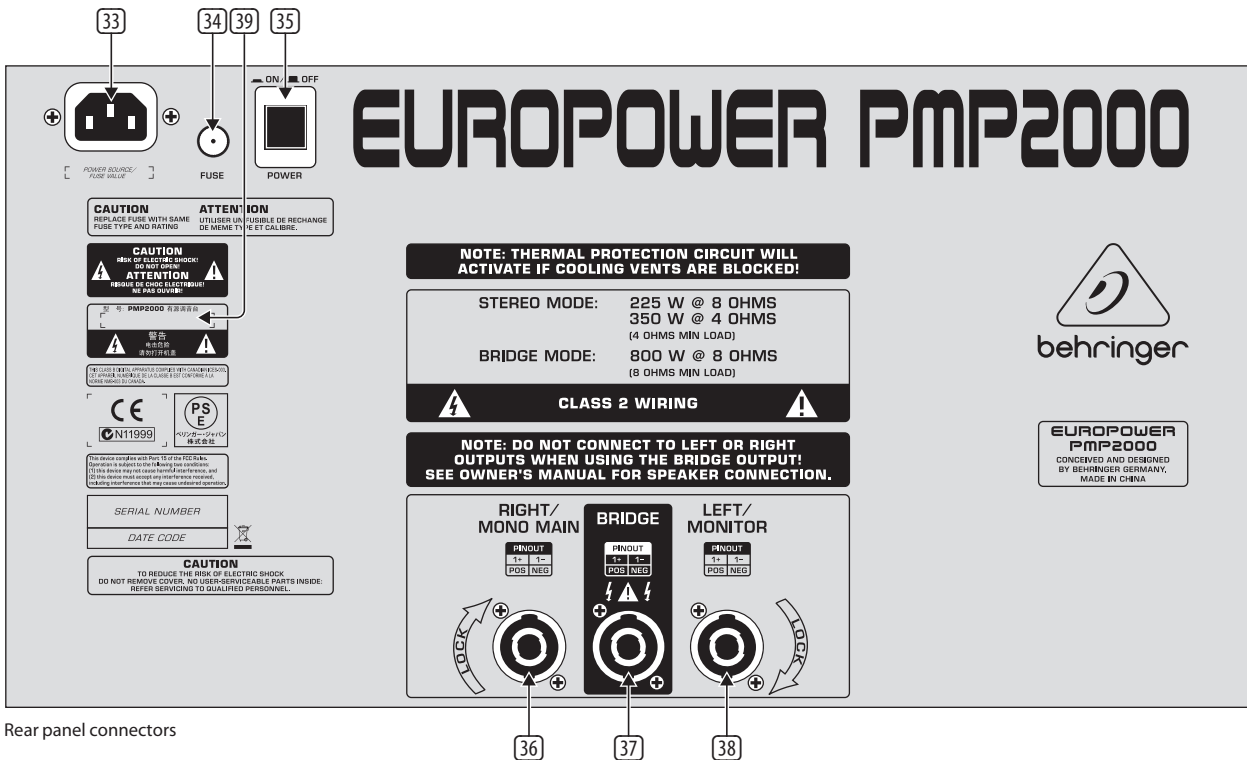
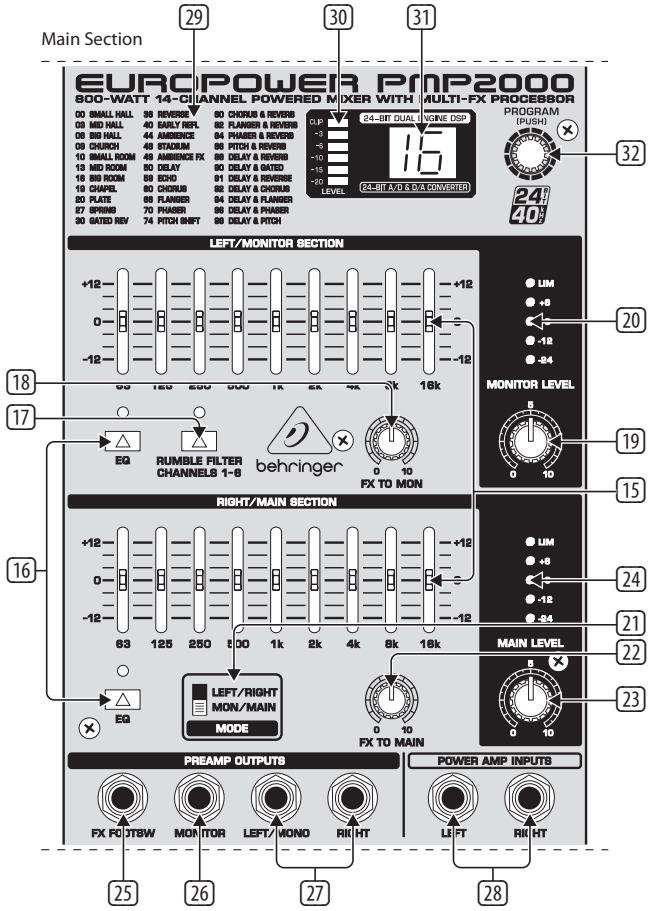
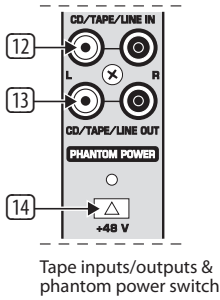
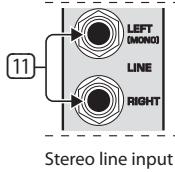
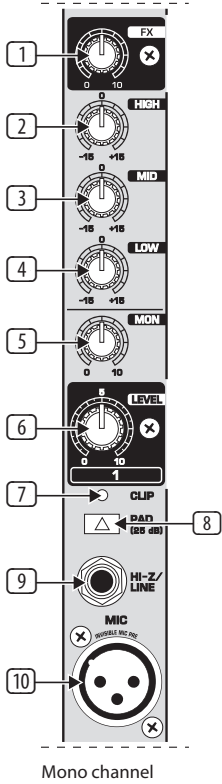
Trident Chambers, Wickhams Cay, P.O. Box 146, Road Town, Tortola, British Virgin Islands

限定保証

適用される保証条件と MUSIC Group の限定保証に関する概要については、オンライン上 www.music-group.com/warranty にて詳細をご確認ください。

JP

JP



1. 概要

BEHRINGER はスタジオオーディオ技術の専門メーカーで、すでに長い年数に渡りスタジオやライブ関係の製品を好評を受けて開発して参りました。それには各種のマイクロフォンや 19 インチ機器 (コンプレッサー、エンハンサー、ノイズゲート、真空管プロセッサ、ヘッドフォンアンプ、デジタルエフェクト機器、DI ボックス、その他)、モニターとオーディオボックス、そして専門的ライブおよびレコーディングミキサーが含まれます。当社のノウハウのすべてがこの PMP2000 の中に集結されているのです。

1.1 ご使用の前に

1.1.1 出荷

EUROPOWER PMP2000 は、運送に耐えるよう工場にて入念に包装されていますが、もし包装箱が壊れているときは、すぐに本機器にキズその他の損傷がないかご確認ください。

◆ **万一キズその他の損傷があった場合は、損害賠償請求が出来ない事がありますので直接当社宛に送らないで、まずお買いになった販売店と配達業者にご連絡下さい。**

1.1.2 使用開始

室内の十分な換気を考慮し、過熱防止のため PMP2000 を暖房器のそばに置かないで下さい。

◆ **電気のコンセントに接続する前に、本機器の電源電圧が正しくセットされているかどうかご確認ください。**

◆ **本機器の電源電圧の設定を変える場合は、他の容量のヒューズに交換して下さい。正しい容量は、「技術仕様」をご参照下さい。**

◆ **ヒューズが切れた時は、必ず正しい容量のヒューズをご使用下さい。正しい容量は、「技術仕様」の章をご参照下さい。**

電源接続には付属の IEC コネクター付き電源コードをご使用下さい。この電源コードは、該当の安全規格に適合しています。

◆ **すべての装置の接地 (アース) が確保されていることを確認して下さい。使用者自身の安全のため、電源ケーブルや装置自体のアースを取り外したり使用不能とすることは絶対にお止め下さい。装置は、必ず保護アース接続の施されたコンセントに接続してください。**

装置の損傷を避けるために:

- スピーカー出力はアースしないでください。
- スピーカー出力同士を接続しないでください。
- スピーカー出力と別のアンプのスピーカー出力同士を接続しないでください。

電波の強い放送局や高周波音源の範囲内では、音質が減退する可能性があります。その場合は、送信機と機器の距離を離し、すべての接続にシールドケーブルを使用してください。

2. 操作部

2.1 フロント部

EUROPOWER PMP2000 は、14 の入力チャンネルを持ち、それぞれレベル調整、ピーク-LED そしてコネクター部で構成されています。オーディオ、エフェクト、モニター、そしてレベルの各コントローラはすべてのチャンネルで同様ですから、それらの使い方の説明は各個所で一度だけしています。

- ① **FX** コントローラは、各チャンネルから搭載エフェクトプロセッサに送られる信号レベルを決定します。
- ◆ **エフェクトプロセッサは、FX TO MAIN コントローラ (22) が左端にあるときは聞えませんのでご注意ください。**
- ② EQ セクションの **HIGH** コントローラは、各チャンネルの高域周波数帯をコントロールします。
- ③ **MID** コントローラで中域周波数帯を強調又は抑制出来ます。
- ④ **LOW** コントローラはベース周波数の強調又は抑制を可能にします。
- ⑤ **MON** コントローラで、モニターミックスでのチャンネルの音量を決定出来ます。
- ⑥ **LEVEL** コントローラはチャンネル音量を決定します。
- ⑦ **CLIP-LED** は入力信号の最適調整に用いられます。CLIP-LED が最高レベル (点灯したまま) で長い間留まっていない様に調節して下さい。
- ⑧ **PAD** キーで、チャンネルの入力を 25 dB 抑制することが出来るので、高レベルのライン信号も各チャンネル入力に接続出来ます。
- ⑨ **HI-Z/LINE** 入力は、キーボード、E. ギターおよび E. ベース等のラインレベルの信号源の接続に適しています。
- ⑩ チャンネルの対称型 XLR マイク入力。
- ⑪ チャンネル 7 から 12 までのステレオライン入力。ステレオ出力のキーボードやステレオ型ドラムコンピューターの接続に適しています。
- ◆ **チャンネルの 1 から 12 までの入力は、マイクか又はラインで、両方同時に使用できませんのでご注意ください!**
- ◆ **7 から 12 までのチャンネルにモノライン信号を接続する場合は、いつも左の入力を使用して下さい。これによりモノ信号は、左右両サイドに受け入れられます。**
- ⑫ チャンネル 13/14 の **CD/TAPE/LINE IN** ピンプラグ 入力は、CD プレーヤーやテープデッキ等の外部からのステレオ信号を接続出来ます。
- ⑬ **CD/TAPE/LINE OUT** ピンプラグ出力からは、PMP2000 のメインオーディオ信号をステレオで取り出すことができ、レコーディングなどに利用されます。
- ◆ **CD/TAPE OUT 信号がテープデッキに接続されていて、テープデッキからの出力信号が再び CD/TAPE IN 入力に接続している状態の時、レコーディング機器の REC 機能をオンにすることによって 2 機器間の接続が分断されることがあります。レコーディングの開始前に、PMP2000 の CD/TAPE IN 入力の接続を外して下さい!**

- 14 コンデンサーマイクの電源供給にはファントム電源が用意されており、チャンネル 1 から 12 までのすべての XLR ジャックは、**PHANTOM POWER** スwitchのオンオフで電源供給されます。電源供給中は、スイッチ上の LED が点灯しています。
- 15 PMP2000 のグラフィック・ステレオイコライザー。2 個のイコライザーで構成されており、室内に合わせたオーディオ効果を作り出すことができます。
- ◆ 2 個のイコライザーが共に **EQ IN** キー 16 を通してスイッチオンしており、**MODE** スwitch 21 が上の位置 (LEFT/RIGHT) にあるとき、ステレオイコライザーはメインミックスに働きます。
- ◆ ステレオイコライザーでは、2 つのイコライザーがスイッチ オンしており、**MODE** スwitch 21 が下の位置 (MON/MAIN) にあるときは、2 つのイコライザーがそれぞれ別にメインミックスとモニターミックスに働きます。
- 16 **EQ IN** キーによって両イコライザーのスイッチオンオフが出来ます。
- 17 **RUMBLE FILTER** キーを押す事により、チャンネル 1 から 6 のローカットフィルターのスイッチオン・オフが出来ます。このフィルターは、不快なベース周波数 (例えば、マイクのコネクト時の雑音) をカットします。
- 18 **FX TO MON** コントローラで、モニターミックスへのマルチエフェクトプロセッサの効果を加減出来ます。このコントロールを左端まで回すとモニターミックスへのエフェクトはゼロになります。
- 19 **MONITOR LEVEL** コントローラはモニターミックスの音量を調節します。
- 20 **MONITOR LEVEL** ディスプレイ上でモニター信号のレベルをコントロール出来ます。搭載のリミッターが作動して信号の上部が制限を受ける時には、最上段の LED (LIM) が点灯します。
- 21 この **MODE** スwitchで、PMP2000 のステレオアンプ (LEFT/RIGHT) としての、あるいはモノラル・ダブルアンプ (MON/MAIN) としての作動の切り替えが行われます。イコライザーの働きは、このスswitchの 置により変わりますのでご注意ください (19 参照)。
- 22 **FX TO MAIN** コントローラは、搭載エフェクトプロセッサの FX リターンコントロールの様に作動します。このコントロールを回す事により、メインミックスへのエフェクト信号が加減されます。左端へ回すとメインミックスへのエフェクト信号はゼロになります。
- 23 **MAIN LEVEL** コントローラは、PMP2000 の全音を調節します。
- 24 **MAIN LEVEL** ディスプレイは、PMP2000 の出力レベルを表示します。搭載のリミッターが作動して信号の上部が制限を受ける時には、最上段の LED (LIM) が点灯します。
- 25 **FX FOOTSWITCH** ジャックに、フットキーをコネクトします。市販のフットキーで「エフェクト バイパス」をアクティブに出来、エフェクトプロセッサを一時的にカットするのに使用されます。
- 26 PMP2000 の対称型 **MONITOR** 出力。これをして外部モニターアンプ又はアクティブな舞台モニターを操作出来ます。
- 27 このフォンジャックをして出力信号を外部アンプにコネクト出来ます。これは例えば、PMP2000 のミックスコンソールとエフェクトセクションだけ使用したいときにお勧めします。信号は PMP2000 の最終段階で測られます。左のコネクターだけをモノ出力とし使用することも出来ます。

- 28 この両フォンジャックは、例えば PMP2000 の最終段階前に、追加のミックスコンソールからハミング信号を挿入するなど、外部信号のコネクトを可能にします。
- 29 ここにはマルチエフェクトプロセッサのすべてのプリセットに付いての概要が記載されています。
- 30 エフェクトプロセッサの **LED** レベル表示。クリップ LED はレベル超過の時だけ点灯しますのでご注意ください。これが点灯し続ける時はエフェクトプロセッサに無理がかかっており、不快な歪み音となります。
- 31 **EFFECT** ディスプレイは常に、選択されたプリセットを表示します。
- 32 **PROGRAM** コントローラを回して、エフェクトプリセットを選ぶことが出来ます。コントロールを一度押す事によって、プリセットは決定します。

2.2 後部

- 33 電源接続には IEC コネクター付き電源コードを使用し、この電源コードは本機器包装箱内に同封されています。
- 34 **安全スswitch**。家庭電源に接続する前に、本機器の電圧設定が地元の電圧と同じかどうかご確認ください。また、ヒューズの交換には必ず同じ規格のものをご使用下さい。
- 35 **POWER** スwitchで、PMP2000 の電源がオンオフ出来ます。電源コンセントに接続する際にこのスswitchが「オフ」になっていることをご確認下さい。
- ◆ 本装置の **POWER** スwitchをオフにしても主電源が完全に切れたわけではありませんので、本体を長期間使用しない場合は電源ケーブルをコンセントから抜いて下さい。
- 36 PMP2000 の **RIGHT/MONO MAIN** スピーカー出力。ここではステレオシステムの右スピーカーが接続されます。この場合 スwitch 21 は上の 置に入れて下さい。メインミックスがモノラルで使用される場合 (スswitch 21 が下の 置にある状態) の時は、このスピーカー出力からは、メインミックスがモノラルで取り出されます。
- ◆ 接続されるスピーカーは、インピーダンス (抵抗値) が 4 オーム以上のものをご使用下さい。
- 37 **BRIDGE** スピーカー出力は、左右のステレオチャンネルを統合して打楽器に適応する、比較的小規模の生き生きとした (反響の多い) ホールのシミュレーション。モノ出力を作ります。この出力は、スピーカーが一個しか必要ない時だけ使用されます。使用の際は、スswitch 21 を左 / 右 (LEFT/RIGHT) の位置に入れて下さい。
- ◆ **BRIDGE** ジャックには、常にインピーダンスが最低 8 オーム以上あるスピーカーを一個だけ接続して下さい!
- ◆ **BRIDGE** コネクターから接続スピーカーへ送り出されるパワーは、左右のスピーカー出力を並行して使用する時より実質上大きいのでご注意ください。PMP2000 の裏面の記載事項をご覧ください。
- ◆ **BRIDGE** スピーカーコネクターの使用時には、他のコネクター (**RIGHT/MONO MAIN** と **LEFT/MONITOR**) を決して使用しないで下さい!

38 PMP2000 の **LEFT/MONITOR** スピーカー出力。ここにはステレオシステムの左スピーカーが接続されます (スイッチ 21 は上の位置)。メインミックスがモノラルで使用される場合 (スイッチ 21 が下の位置にある状態) は、このスピーカー出力からは、モニター信号がモノラルで取り出されます。

◇ 接続されるスピーカーは、インピーダンスが 4 オーム以上のものをご使用下さい。

◇ スピーカーコードの正しい極性は、本機器裏のピンの並びに付いての記載事項をご覧ください。

39 製造番号 (シリアルナンバー)。

3. エフェクトプロセッサー

24-BIT 多重効プロセッサー

この挿入された作用モードにより高品質の標準作用を提出し、例えば、反響、合唱、テープ相校正、エコーと様々な組み合わせる役割です。FX コントローラーを使って、信号をエフェクトプロセッサーに送り込むことが出来ます。内蔵エフェクトモジュールの長所は、ケーブル接続が不要な点です。そのため、グラウンドループや不定の信号レベルに悩まされる必要は一切ありません。各チャンネルや Aux センド 2 マスターコントローラー内の Aux センド 2 を使用しエフェクトプロセッサーへ信号を送ることが出来ます。このデジタル・ステレオ・エフェクトプロセッサーは内蔵型となっており、結線の必要がありません。このため、ハムノイズやレベル相違などの問題を防ぎ、操作が大変楽になります。

このエフェクトプリセットは、ドライ信号に加えるためのものです。FX TO MAIN/MON コントローラーを廻すと、ドライなチャンネル信号とエフェクト信号がミックスされます。

◇ 処理したくない全ての信号用にチャンネル動向において **FX 増幅器**を回してください。

4. 設置方法

4.1 電源電圧

家庭内電源に接続する前に、PMP2000 の電圧設定が正しいかどうか必ずお確かめ下さい! ヒューズの交換には必ず同じ規格のものをご使用下さい。

4.2 電源接続

電源接続には、IEC コネクター付き電源コードをご使用下さい。このコードは所要安全規格に適合しています。

◇ すべての機器が確実にアースされている事をご確認下さい。安全のため、機器や電源コードのアースを取り除いたり使用不能にしないで下さい。

4.3 オーディオ機器の接続

BEHRINGER PMP2000 のラッチ入力 / 出力には、対称型モノラル・フォンジャックが使用されています。勿論 PMP2000 を非対称型ラッチプラグで使用することも出来ます。テープ入力 / 出力はステレオピンプラグ-コネクターです。

◇ すべての装置の接地 (アース) が確保されていることを確認して下さい。使用者自身の安全のため、電源ケーブルや装置自体のアースを取り外したり使用不能とすることは絶対にお止め下さい。装置は、必ず保護アース接続の施されたコンセントに接続してください。

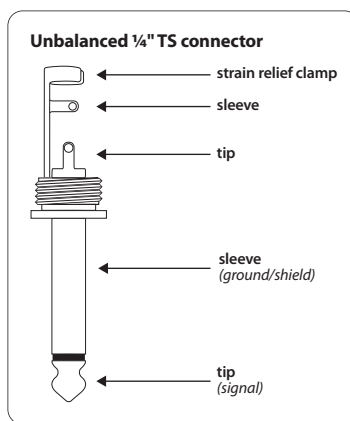


図 4.1: 6,3 mm モノジャックプラグ

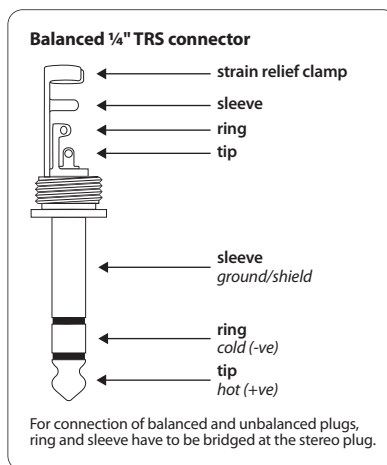


図 4.2: 6,3 mm ステレオジャックプラグ

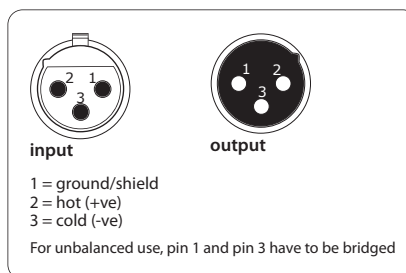


図 4.3: XLR コネクター

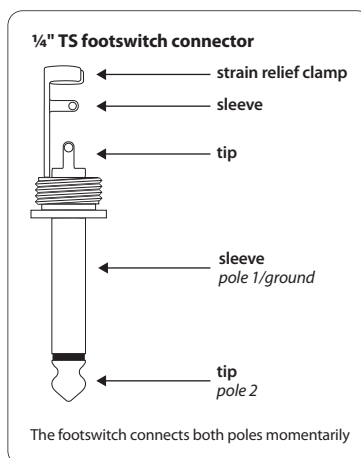


図 4.4: フットキー用モノジャックプラグ

4.4 スピーカーコネクター

EUROPOWER ミキサーには、高品質の Neutrik/Speakon 対応コネクターが備えられています。Speakon プラグはより高い機能を持ったラウドスピーカー用に特に開発されました。依存する端子に差し込まれ、これに鍵がかけられ、うっかりと失われることはありません。電気ショックから守り、正極が保証されます。各 Neutrik/Speakon 対応コネクターは表示されたひとつの信号のみを導きます (表 4.1 / 図 4.6 及び PMP2000 後部の記載事項を参照)。

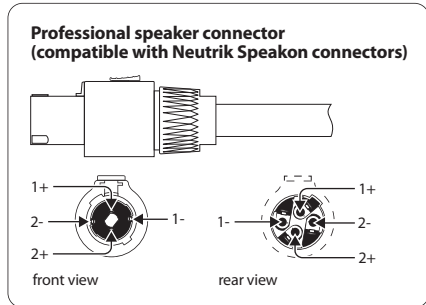


図 4.5: プロフェッショナルコネクター

ご利用のスピーカーを PMP2000 に接続するには、市販の Speakon -コード (NL4FC 型) だけをご使用下さい。ご利用の PMP2000 のスピーカー出力の極性ととは、さらにご利用スピーカーとスピーカーコードの極性を必ずご確認下さい。

	1+	1-	2+	2-
RIGHT/MONO MAIN	POS	NEG	—	—
LEFT/MONITOR	POS	NEG	—	—
BRIDGE	POS	NEG	—	—

表 4.1: スピーカーコネクターのピン並び (極性)

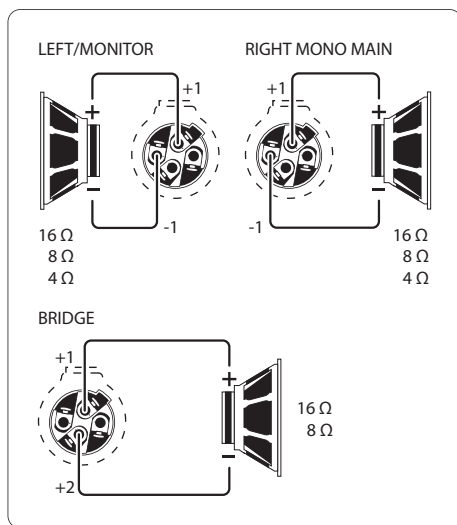


図 4.6: スピーカーコネクターのピン並び (極性)

5. 接続例

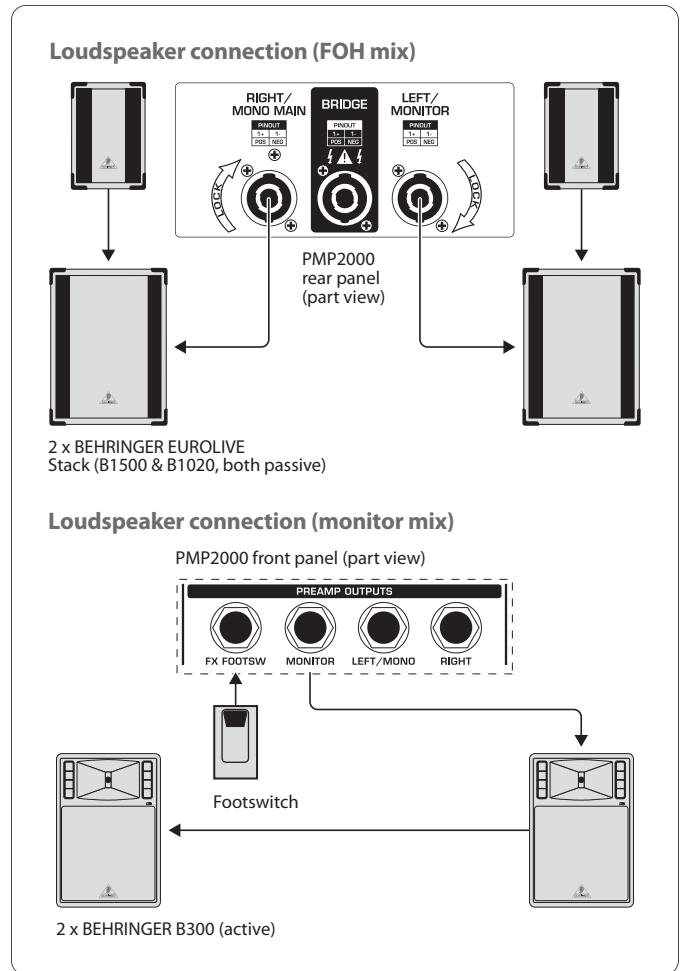


図 5.1: ステレオアンプとしての PMP2000 (例)

◆ この場合、MODE スイッチ (21) を上の位置にしてご使用下さい!

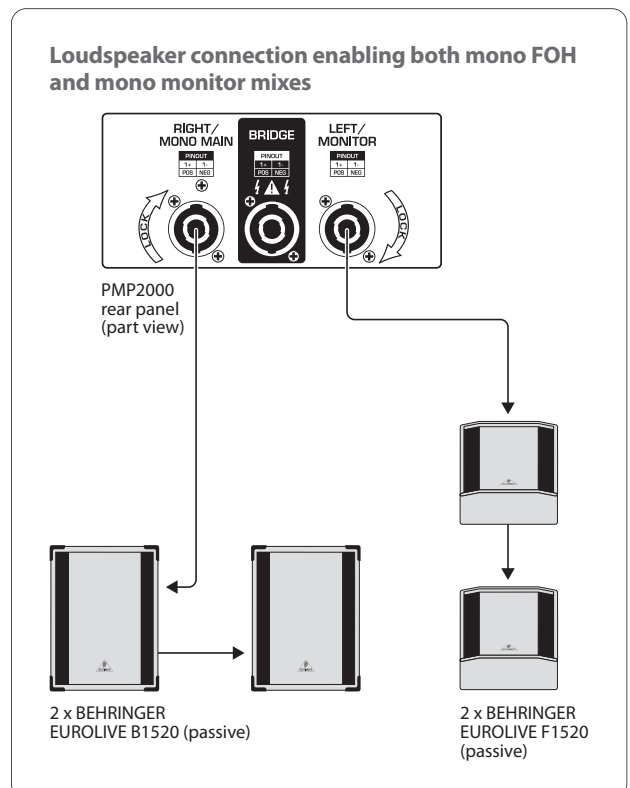


図 5.2: モノダブルアンプとしての PMP2000 (例)

◇ この場合、MODE スイッチ 21 を下の位置にしてご使用下さい!

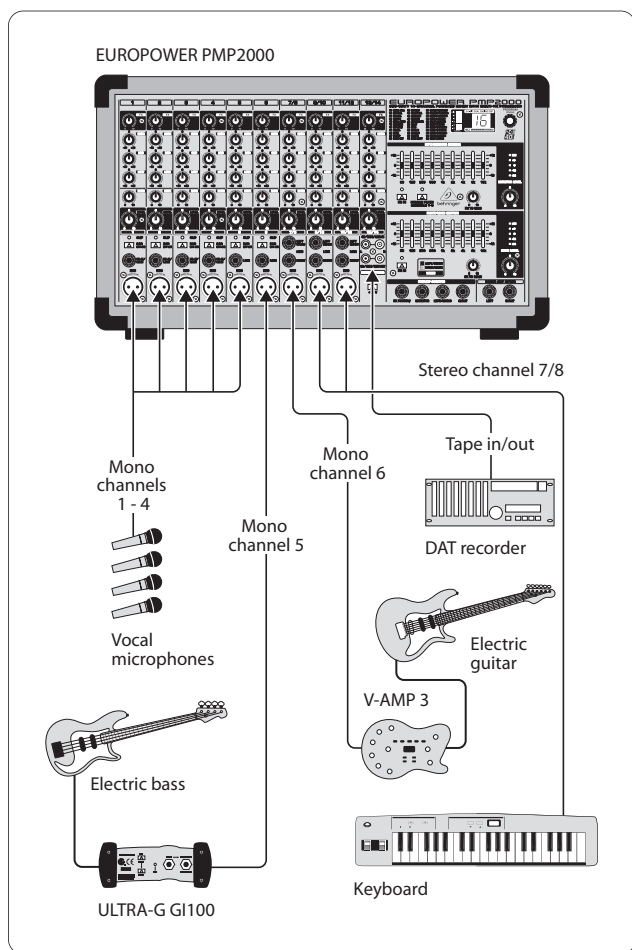


図 5.3: 標準セットアップ (例)

6. 技術仕様

モノラル入力

マイク入力

タイプ	XLR 電子バランス入力、 系統入力
-----	-----------------------

Mic E.I.N. (20 Hz - 20 kHz)

@ 0 Ω	-122 dB / 125 dB 出力スケール 入力インピーダンス
-------	--------------------------------------

@ 50 Ω	-122 dB / 125 dB 出力スケール 入力インピーダンス
--------	--------------------------------------

@ 150 Ω	-121 dB / 124 dB 出力スケール 入力インピーダンス
---------	--------------------------------------

周波数帯域	<10 Hz から 100 kHz (-1 dB)、 <10 Hz から >200 kHz (-3 dB)
-------	--

増幅域	+33 dB, +8 dB (Pad)
-----	---------------------

最高入力レベル	+12 dBu @ +8 dB Gain
---------	----------------------

インピーダンス	約 2.2 kΩ バランス 約 1.1 kΩ アンバラン
---------	---------------------------------

S/N 比	110 dB / 114 dB
-------	-----------------

タイプ	6.3 mm ステレオフィオンジャック、 バランス
-----	------------------------------

インピーダンス	約 80 kΩ バランス、 約 40 kΩ アンバラン
---------	--------------------------------

最高入力レベル	30 dBu
---------	--------

ライン入力 (Stereo)

タイプ	6.3 mm フオンジャック、 アンバランス
-----	---------------------------

インピーダンス	約 40 kΩ アンバラン
---------	---------------

最高入力レベル	+28 dBu
---------	---------

EQ

Low	60 Hz / ア 15 dB
-----	-----------------

Mid	700 Hz / ア 15 dB
-----	------------------

High	6 kHz / ア 15 dB
------	-----------------

Preamp Outputs Left/Mono & Right

タイプ	6.3 mm フオンジャック、 アンバランス
-----	---------------------------

インピーダンス	約 1.5 kΩ
---------	----------

最高出力レベル	+21 dBu
---------	---------

Power Amp Inputs

タイプ	6.3 mm ステレオフォンジャック、アンバランス
インピーダンス	約 47 k Ω
最高入力レベル	+21 dBu

Monitor Output

タイプ	6.3 mm ステレオフォンジャック、アンバランス
インピーダンス	1,5 k Ω
最高出力レベル	+21 dBu
DSP	Texas Instruments
コンバーター	24 ビット Sigma-Delta、64/128 倍オーバーサンプリング
サンプリングレート	40 kHz

メインミックス・システムデータ¹

ノイズ

メインミックス @ - ∞ 、 チャンネルフェーダー $-\infty$	-76 dB / -80 dB 出力スケール
メインミックス @ 0 dB、 チャンネルフェーダー $-\infty$	-72 dB / -76 dB 出力スケール
メインミックス @ 0 dB、 チャンネルフェーダー @ 0 dB	-71 dB / -75 dB 出力スケール

システムデータ

両チャンネル使用時の RMS@1% THD (サイン波):

各チャンネルごとに 8 Ω	165 W
各チャンネルごとに 4 Ω	250 W

ブリッジモードにおける RMS@1% THD (サイン波):

8 Ω	500 W
------------	-------

両チャンネル使用時のピークレベル

各チャンネルごとに 8 Ω	225 W
各チャンネルごとに 4 Ω	350 W

ブリッジモードにおけるピークレベル

8 Ω	800 W
------------	-------

スピーカーコネクター

スピーカーコネクター	Neutrik Speakon 対応コネクター
------------	-------------------------

インピーダンス

Left/monitor	4/8/16 Ω
Right/mono main	4/8/16 Ω
Bridge	8/16 Ω

電源供給

電源電圧 および ヒューズ

米国 / カナダ	120 V~, 60 Hz T 10 A H 250 V
ヨーロッパ / 英国 / オーストラリア	230 V~, 50 Hz T 5 A H 250 V
中国 / オーストラリア	220 V~, 50/60 Hz T 6.3 A H 250 V
日本	100 V~, 50 - 60 Hz T 12 A H 250 V
一般輸出用モデル	230 V~, 50 Hz T 5 A H 250 V 120 V~, 60 Hz T 10 A H 250 V

消費電力	max. 1 kW
------	-----------

電源接続	標準 IEC コネクター
------	--------------

外径寸法 / 重

寸法 (高さ x 幅 x 奥行き)	11 x 18 1/8 x 10 5/8" 280 x 460 x 270 mm
-------------------	---

重量	約 13.6 kg
----	-----------

計測条件:

1: 20 Hz ~ 20 kHz、メイン出力によるチャンネル。全チャンネル: センターポジションにレベルコントロール; EQ フラット。レファレンス = 0 dBu。

BEHRINGER 社は、最高品質水準の維持にむけた努力を常時おこなっています。必要とみなされた改良等は予告なくおこなわれますので、技術データおよび製品の真が実物と多少相違することがあります。



We Hear You